

1

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一九七〇年代の中頃、私は、タイのバンコクに住んでいました。日本大使館の参事官として勤務していましたが、同時に、バンコクに本部のあった、国連のアジア・太平洋地域の国際機関、ESCAP（アジア太平洋経済社会委員会）の日本政府常駐代表を兼務して、関連の会議によく出席しました。

ちょうどその頃、ESCAPは、前身のECAFE（アジア極東経済委員会）から名前を変えたところでした。南西アジア出身の事務局長から、インドネシア出身の事務局長にバトンタッチされて、東南アジアの発言力が強まり、日本もそれを積極的に推進・シエン^aしました。そのESCAPで、各国参加者の共通認識であり、共通語として定着したのが、エイシアン・ウェイ（Asian way）です。

エイシアン・ウェイとは、ものごとを決めるのに投票には付さずに、あくまでコンセンサス（全会一致）で決定するという「やり方」です。当時、「アジア」の国を標榜^{ひょうぼう}するようになった豪州とニュージーランドの代表が、アジア諸国の代表と一緒にあってエイシアン・ウェイを率先して主張しているのが印象的でした。

多くの国が出席する会議で、しかも意見が分かれているときに、コンセンサスで決めるのは至難の業です。討議が延々と続き、それがオウオウ^bにしてシン^cコウ^cまで及び、日付も変わったりします。出席者も疲れ果てて、何とか接点、合意点を見つけようという気になります。これがまさに、エイシアン・ウェイの実態でした。しかし、そこで得られたコンセンサスは全員納得のうえで採決されたもので、その意味合いは大きいものでした。

日本は、このエイシアン・ウェイの主導者の一員でした。エイシアン・ウェイはジャパニーズ・ウェイと呼んでもよいという人もいました。私にとっては、ESCAPの仕事をしてきた折の貴重な思い出の一つとなっています。

エイシアン・ウェイは、コンセンサス志向を⁽¹⁾地⁽¹⁾でいくものです。⁽²⁾話し合い重視の⁽²⁾ともいえます。ただし、これが成立する前提として、出席者が全員、コンセンサス成立のために協力する、努力するというスタンスが必要です。状況により自説を修正したり、取り下げることがありますからです。

最後まで誰かが自説に固執すると、コンセンサスは成立しません。「無理難題をいって、全体を困らせる」ことで得をする、いわゆる「ごね得^{どく}」の現象が起こることもあります。むしろ、最初から「ごね得」を狙って、何かを得ようとするケースもあります。

また「小田原評定^{おだわらひょうじょう}」⁽¹⁾といつて、議論ばかり延々と続けながら何も決まらない、ということもあります。因みに、「小田原評定」の語源は、小田原城が豊臣秀吉の軍勢に囲まれたとき、城主の北条氏が家臣を集めて、戦いを続けるかやめるか評議を重ねましたがどちらとも決められず、結局滅ぼさ

れてしまったことに由来します。

私自身の国際会議での経験では、「ごね得」が功を奏したり、「ごね得」で困ったことはほとんどありませんでした。また、エイシアン・ウェイでは何かを決めなければならぬということ、**A** 的に討議を進めたので、「小田原評定」的な結果になったことはむしろ稀まれでした。

コンセンサス志向は時間がかかり、また接点、合意点を見出すのが大変ですが、それなりの効果、効用があります。何はともあれ、全員が納得したうえで結論が得られるからです。コンセンサス成立のために、自らの主張を若干抑えることはフカヒdですが、それでも全員が賛同、納得して、結論が得られる意味合いは大きいといえます。

コンセンサスの中には、微妙なバランスの上に成り立っていて、基盤が脆弱ぜいじやくなものもありますが、それでも反対を抑えての多数決と比べて、⁽³⁾安定性は大きいというのが私の見解です。

話し合い重視とコンセンサス志向のもう一つの特徴は、少数意見の尊重です。多数決では、少数意見が反映されない可能性が大きいですが、コンセンサス方式では、少数意見がコンセンサスの内容に相応に反映されるのが通常の現象です。

国際社会では、特にこの点が重要です。少数意見にも配慮されたバランスのとれたコンセンサスの内容が求められ、期待される中で、**B** 的にも妥当な安定度が増す結果が得られるからです。

当面する困難な問題に、少数民族の問題があります。多くの場合、**C** 的に極めて複雑でデリケートな問題ですが、多数決によって少数民族の意見が常に反映されないのでは、解決につながりません。話し合い、コンセンサスを形成する過程で、少数民族の意見がそれなりに反映されること
が望まれます。

多数決とコンセンサス方式を比較すると、少数意見の取り扱いという面も含めて、コンセンサス方式が望ましいケースが数多く認められます。

特に国際社会ではそうです。コンセンサス方式は時間がかかり、手間暇がかかりますが、**D** 的に話し合い重視の傾向の強い日本が、少数意見
e ショグウの面で率先した役割を果たすことが期待されます。ただし、少数意見に配慮といっても、国際テロ集団のような過激派グループや過激な意見、極端な主張が除かれるのはもちろんのことです。

(中村順一『日本の感性と東洋の叡智』による)

問(一) 傍線部 a～e のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群のうちから一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

a || 1

b || 2

c || 3

d || 4

e || 5

a シエン

- 1 近くの山へエンソクに行く。
- 2 屋内でのキツエンを禁止する。
- 3 エンギでもない。
- 4 セイエンを送る。
- 5 デンエンが広がる。

b オウオウ

- 1 証拠品をオウシユウする。
- 2 環境にテキオウする。
- 3 駅まで歩いてオウフクする。
- 4 オウギをさわめる。
- 5 道路をオウダンする。

c シンコウ

- 1 予定をヘンコウする。
- 2 合意を目指してコウシヨウする。
- 3 物価がコウトウする。
- 4 悲惨なコウケイを目にする。
- 5 毎年コウレイの運動会。

d
フカヒ

- 1 ヒコクとして出廷する。
- 2 ヒヨクな土地。
- 3 ヒレツな行為。
- 4 ヒガンを達成する。
- 5 ヒシヨに出かける。

e
シヨグウ

- 1 変化にタイシヨする。
- 2 書類にシヨメイする。
- 3 シヨム課に勤務する。
- 4 モウシヨ日が続く。
- 5 原稿をセイシヨする。

問(二) 傍線部(1)「地でいく」の本文中の意味としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

6

- 1 理想にかかげる
- 2 根拠としている
- 3 そのまま体現する
- 4 他に先がける
- 5 地道に行く

問(三) 傍線部(2)「話し合い重視の」の空欄を補うのにふさわしい三字熟語を、次のうちから一つ選び、その番号をマ

クしなさい。

7

- 1 一枚岩
- 2 真骨頂
- 3 十八番
- 4 瀬戸際
- 5 試金石

問(四) 空欄 A D を補うのにふさわしい語の組み合わせを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| 1 | A 〓 政治 | B 〓 客観 | C 〓 伝統 | D 〓 精力 |
| 2 | A 〓 政治 | B 〓 伝統 | C 〓 精力 | D 〓 客観 |
| 3 | A 〓 伝統 | B 〓 政治 | C 〓 客観 | D 〓 精力 |
| 4 | A 〓 精力 | B 〓 政治 | C 〓 伝統 | D 〓 客観 |
| 5 | A 〓 精力 | B 〓 客観 | C 〓 政治 | D 〓 伝統 |

問(五) 傍線部(3)「安定性は大きい」とありますが、その理由の説明としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- 1 「小田原評定」的な結果にはならないから。
- 2 多数決と比べて時間をかけて協議するから。
- 3 「ごね得」が功を奏することはないから。
- 4 全員が納得したうえで結論が得られるから。
- 5 最初から誰も自説に固執することがないから。

問(六) 本文の内容と合致するものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- 1 コンセンサス方式は時間がかかるものの、多数決よりも望ましい場合が多い。
- 2 エイシアン・ウェイは、アジア以外の多くの国々にも支持されている。
- 3 コンセンサス志向は、「ごね得」や「小田原評定」的な結果になりやすい。
- 4 国際会議では、多数決とコンセンサス方式を組み合わせるのが望ましい。
- 5 少数意見は過激な意見や極端な主張を含んでいるので、配慮すべきでない。

2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

現在の人間たちの協力の最たるものは「職業」です。多くの人は職を持っていて、特定の仕事をすることで生きていけるようになっていきます。私の場合であれば大学教員ですので、大学で講義をしたり、研究をしているだけで給料をもらって、衣食住を⁽¹⁾賄うことができます。私が身に着けている衣服も毎日食べている食料も、住んでいる家も、自分で作ったものではありません。作ろうと思っても質の高いものは作ることができません。その代わりに他のもつと技術のある人間が仕事として作ってくれたものを買っています。

現代人には当たり前すぎて普段はあまり意識しないかもしれませんが、これは大きな協力関係です。皆が自分以外の誰かのために質の高い仕事をすること、全員が安全で快適な生活を送ることができています。

⁽²⁾ 職業という協力関係の重要さは、誰かが仕事を⁽³⁾辞めたらどうなるかを考えるとすぐにわかります。(イ)、衣服を作る仕事の人が全員辞めてしまったら、みんな自分の服は自分で作らないといけなくなりそうです。きつと粗末な衣服しか作れないことでしょう。忙しい人は全く作れないかもしれません。着替えを用意しておくのも大変ですし、洗っているうちにぼろになるでしょうから、洗濯もあまりしなくなるでしょう。衣服は汚れ、感染症も広まりやすくなるかもしれません。現代人が安く品質の高い衣服を手に入れることができているのは、作ることに特化した人が専門に作ってくれるおかげです。

そしてそれは、ⁱ一方的な関係ではありません。衣服を作る人も食料や住居は別の専門家に作ってもらっています。私たち人間は、現在、社会というⁱⁱ大きな協力関係の網の目の中に組み込まれています。

「社会の中に組み込まれる」ということは「社会の歯車になる」ということです。この言葉にはあまりいい印象はないかもしれませんが、自分の個性とかアイデンティティがおびやかされていると感じるかもしれません。しかしそれは誤解だと私は思います。(ロ) 社会の歯車になることでほとんどの人は個性を發揮して、みんなの役に立てるのだと思います。(一)

たとえば、社会が全く存在しない状況を考えてみましょう。父親、母親、小さい子どもの3人家族だけで無人島で暮らしているような状況です。この場合、生きていくためにⁱⁱⁱ必要な仕事はすべて3人だけで分担しないといけません。狩りをするのは、生物的に力の強い大人の男性である父親になるでしょう。植物や果物を採集したり、調理したりするのは、狩りに^{iv}不向きな女性や子どもの仕事になるでしょう。(ハ)、狩りなんて荒っぽいことが^v嫌いな男性や、採集よりも狩りの方が好きな女性だったとしても、^{vi}餓えないためには身体的に向いている方をやらざるをえません。狩りに失敗したり、食べ物を見つけることに失敗したりすれば、すぐに命の危機が訪れます。また、この世界では、勉強が得意とか、絵をかくのが得意と

か、コミュニケーション能力が高いとか低いなどの個性が役に立つことはありません。なにより必要なのは、獲物をしとめたり、食料を確保する能力です。力や体力が何よりも重要です。強く丈夫で健康な人間だけが生き残る世界です。(2)

一方で私たちの社会は違います。力や体力が必要な職業もあれば、勉強や絵を描くことやコミュニケーション能力が必要な職業もあります。どれか一つの能力が優れていれば、十分に活躍の場が見つかります。少なくとも狩猟採集社会よりは、今の社会の方が自分に合った役割(歯車)が見つかる可能性が高いように思います。(3)

こうした他人との協力からなる社会を形成するようになると、人間という生物が増える単位も変わってきます。人間以前の生き物は自分の力で自分だけを増やしていました。細菌も線虫もカエルも虫もサルも、増えることができるかどうかは自分の能力や運によって決まっていました。優れた能力を持つていれば生殖に成功し、子孫を作ることができますし、そうでなければ血統は途絶えてしまいます。(4)

(二) 協力関係の網の目の中にいる人間は違います。自分が生き残って増えるためには他の人の能力も重要です。また自分の能力もほかの人が生き残って増えることに⁽⁴⁾貢献しています。自分の命が大事なと同じように、他の人の命も大事になっていきます。増える単位が自分の体を超えて広がっているといつてもいいかもしれません。

このような大規模な協力関係は⁽⁵⁾人間ならではの特徴です。人間以外の生物が非血縁個体と協力することは、特殊なケースを除いてほとんどありません。なぜ人間のみでこのような特殊な能力が生まれたのかについてはいろいろな説があります。人間の持つ高度な言語能力や認知能力や寿命の長さが大事だったと言われています。また、それらの能力が生まれた背景には、狩猟採集生活の中で協力する必要性があったことや、子どもが成長するまでに時間がかかることから子育てに他の個体の協力が必要だったことなどが指摘されています。(5)

このような性質のどれが直接的な原因だったのかはわかりませんが、いずれにせよ、このような他の個体との協力を可能とする人間の性質は、元をたどれば少産少死の戦略によってもたらされたものです。命を大事にして長く生きるようになり、他個体と付き合うことが可能になったために協力することが有利になりました。

(ホ)、人間には他者を認識する知能や、他者の気持ちを察することのできる共感能力も備わっています。結果として協力関係がどんどん発展していきました。私たち人間は地球上の他のどんな生物よりも協力的な、いわば「やさしい」生物です。⁽⁶⁾このようなやさしさの進化は少産少死の戦略を極めてきた生物にとって必然だったように思えます。

現在の人間は他人と協力することでより生き残りやすく増えやすくなっています。この他者と協力をする効果は圧倒的です。地球上の人口が2022年現在約80億人に達し、このまま進めば110億人くらいに落ち着くと予想されています。

同じくらしいサイズの類人猿であるチンパンジーは17〜30万頭、ニシローランドゴリラは32万頭しかいないことを考えると、これはこのサイズの大型生物としては破格の数に達しています。生息域も広がり、地球上のすべての場所を踏破し、宇宙にまで進出するようになりました。それもすべて、⁽⁷⁾多くの人間が()したからこそなされた成果です。人間が衣食住をすべて個人で賄っていたら、決して宇宙には到達できなかったでしょう。

(市橋伯一^{いちはしのりかず}『増えるものたちの進化生物学』による)

問(一) 傍線部(1)「賄う」と置き換えることができる言葉としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 1

- 1 うけとる
- 2 ととのえる
- 3 あてがう
- 4 たのしむ
- 5 さしだす

問(二) 空欄(イ) (ホ) を補うのにふさわしい言葉を、次のうちから一つずつ選び、その番号をマークしなさい。(同じ番号を二度以上選

んではいけません。) イ 2 □ 3 ハ 4 ニ 5 ホ 6

- 1 たとえば
- 2 しかも
- 3 だから
- 4 ところが
- 5 むしろ
- 6 たとえ

問(三) 傍線部(2)「職業」という協力関係」とはどのようなことですか。その説明としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしな

さい。 7

- 1 特定の職業に就いている人間が、より質の高い衣食住を手に入れるために、色々な分野の専門家からその技術を学ぶこと
- 2 自分の個性に見合った仕事をしている人間が、他の職業に就いた人々の生活に資するために、自分の技術の向上に励むこと
- 3 自分にふさわしい、特化した技術を身につけ、専門家として職業に励むこと
- 4 人間が各自の個性に合った仕事に励み、自分で賄えないものは別の職業で働く人の力に頼ることで、快適な生活が維持されること
- 5 人間が自分の個性やアイデンティティを抑制して仕事に専念することで、社会という網の目の中に組み込まれていくこと

問(四) 傍線部(3)「辞」という漢字を使った熟語としてふさわしくないものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- 1 献辞
- 2 故辞
- 3 辞世
- 4 謝辞
- 5 辞令

問(五) 傍線部 i ~ v について、他の四つとは品詞が異なっているものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- 1 i 一方的な
- 2 ii 大きな
- 3 iii 必要な
- 4 iv 不向きな
- 5 v 嫌いな

問(六) 傍線部(4)「貢献」と熟語の構成が同じものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- 1 奔走
- 2 地震
- 3 明滅
- 4 苦笑
- 5 就職

問(七) 傍線部(5)「人間ならではの」の意味としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- 1 人間ならばあり得ること
- 2 人間も含まれるということ
- 3 人間に特有であるということ
- 4 人間であれば仕方がないということ
- 5 人間にはありがちだということ

問(八) 傍線部(6)「このようなやさしさの進化は少産少死の戦略を極めてきた生物にとって必然だったように思えます」とありますが、筆者がそのように述べる理由としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- 1 他の多くの生物に比べ長生きする人間には、互いのコミュニケーションを密にして理解し合ったり、芸術を楽しんだりする余裕があるから。
- 2 非血縁個体とは協力しない他の生物とは異なり、人間は、血縁を超えて他の個体をいたわり、協力し合うような遺伝的素質を持っているから。
- 3 人間の子どもは成長するまでに時間がかかるので、親には、長い育児期間の間、子どもを守り慈しむ愛情が必要だから。
- 4 少数の子どもしか産まない人間の親には、生まれた子どもが命を落とすことがないよう、細やかな心配りが求められるから。
- 5 生まれてきた限られた数の個体が長生きすることによって生き残ってきた人間にとっては、他の個体と協力する方が有利だったから。

問(九) 傍線部(7)「多くの人間が()したからこそ」の空欄()を補うのにふさわしい言葉を、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

13

- 1 活躍
- 2 貢献
- 3 生息
- 4 協力
- 5 仕事

問(十) 本文から次の文が脱落しています。本文中の(1)～(5)のどこに戻すのがふさわしいですか。後群のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

14

それ以外の個性には出番はありません。

- 1 (1)
- 2 (2)
- 3 (3)
- 4 (4)
- 5 (5)

問(十一) 本文の内容に合致するものを、次のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。(解答の順序は問いません。)

15

16

- 1 現在の人間が質の高い衣食住を手に入れるためには、一つの職業に就いて給料をもらっているだけでは不十分だ。
- 2 人間は誰しも社会の歯車などになりたくないが、社会の中で一定の地位を得るためにはそれに甘んじるしかない。
- 3 家族のメンバーだけで狩猟採集に携わらなければならないような世界には、社会というものは存在していない。
- 4 現在繁殖している人間以外の生物は、優れた能力や運によって少産少死の戦略を獲得した種に限られる。
- 5 人間が他の類人猿に比べてはるかに個体数が多く生息域も広いのは、少産少死の戦略が大きく関わっている。
- 6 チンパンジーやニシローランドゴリラの数がそれほど増えないのは、類人猿にまで人間の共感力が及ばないからだ。

3

次の各問いに答えなさい。

問(一) 熟語の読みが間違っているものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

1

- 1 包含(ほうがん)
- 2 惑溺(わくでき)
- 3 愛玩(あいげん)
- 4 萎縮(いしゆく)
- 5 安泰(あんたい)

問(二) 漢字の読みが間違っているものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

2

- 1 衣(ころも)
- 2 錦(わた)
- 3 痕(あと)
- 4 蓋(ふた)
- 5 懐(ふところ)

問(三) 「鉄面皮」の意味としてふさわしいものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

3

- 1 みつともないこと
- 2 見すばらしいこと
- 3 乱暴なこと
- 4 いじわるなこと
- 5 厚かましいこと

問(四) 「眉に唾をつける」とほぼ同じ意味の言葉を、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

4

- 1 突然の出来事に当惑する。
- 2 だまされないように用心する。
- 3 争いごとを傍観する。
- 4 自分の過ちを謝罪する。
- 5 他人の失態を嘲笑する。

問(五) 次の文の傍線部の動詞の活用形を、後群のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

5

彼は私を傷つけておいて、謝ろうともしない。

- 1 未然形
- 2 連用形
- 3 連体形
- 4 仮定形
- 5 命令形

問(六) 次の文の空欄()に入る四字熟語としてふさわしいものを、後群のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

6

犬猿の仲の二人が居合わせるなんて、まさに()だね。

- 1 一期一会
- 2 偕老同穴かいろうどうくつ
- 3 呉越同舟
- 4 大同小異
- 5 南船北馬

問(七) 傍線部の敬語の種類が他の四つとは異なるものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- 1 皆様
- 2 お宅
- 3 弊社
- 4 各位
- 5 ご都合

問(八) 「巽(たつみ)」が表す方向を、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。

8

- 1 北
- 2 南
- 3 東
- 4 南東
- 5 北西

問九 「飛」の画数を、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- 1 八
- 2 九
- 3 十
- 4 十一
- 5 十二

問十 季語と季節の組み合わせが間違っているものを、次のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- 1 麦の秋（夏）
- 2 七夕（秋）
- 3 小春日和（冬）
- 4 こいのぼり（春）
- 5 朝顔（秋）

問十一 次の短歌は何句切れですか。ふさわしいものを、後群のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。 11

白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ（若山牧水）

- 1 初句切れ
- 2 二句切れ
- 3 三句切れ
- 4 四句切れ
- 5 句切れなし

問十二 白樺派に属さない作家を、次のうちから一人選び、その番号をマークしなさい。 12

- 1 川端康成
- 2 武者小路実篤
- 3 有島武郎
- 4 志賀直哉
- 5 長与善郎

設問は以上です。